

日韓 5/14(火)13時半開始 フードバンクフォーラム

民間と行政の役割と協働からフードバンクの未来を考える



SECOND
HARVEST
セカンドハーベスト・ジャパン

secondharvest
asia

主催者:
セカンドハーベスト・ジャパン
セカンドハーベスト・アジア
後援:
NPO法人あいあいねっと
NPO法人フードバンク山梨
社会福祉法人島根県社会福祉協議会

日韓フードバンクフォーラムを開催します

フードバンクが日本で始まったのは2000年。お隣の韓国で始まったのも、それからわずか2年前の、1998年のことでした。それから10余年の時を経て、両国のフードバンクはそれぞれの発展を遂げてきました。

NPOによって発展を遂げてきた日本のフードバンクですが、現在、更なる発展を、模索する過渡期に差し掛かっています。今回は、韓国においていち早く導入され、現在400以上もある政府系フードバンクと、独自に全国に支部を擁して活動を続ける民間フードバンクそれぞれを代表するゲストをお招きして、今特に関心を集めているフードバンクと行政との協働の可能性と限界について、講演いただきます。日本側からも各地で奮闘されているフードバンク団体に、議論へ参加いただきます。日本のフードバンクの未来のために、たくさんの方々のご参加を心からお待ちしております。

開場:13時15分 開始:13時30分 終了:16時40分

第一部 韓国のフードバンクについて(逐次通訳あり)

13時40分:韓国フードバンク評価委員長 鄭茂晟氏「韓国フードバンクの発展過程における政府、企業、NGOの役割」

14時20分:聖公会フードバンク代表 金翰承氏「韓国民間フードバンク運動15年の経験と今後の展望」

第二部 パネルディスカッション(逐次通訳あり)

15時10分日韓フードバンク関係者でフードバンクの将来性について語っていただきます。

講演者

鄭茂晟(チョン・ムソン)氏



スンシルサイバー大学校 副総長。韓国フードバンク評価委員長。前スンシル大学校社会福祉大学院長、韓国社会福祉行政学会会長、韓国社会福祉協議会研究院長。シカゴ大学福祉行政学博士。

金翰承(キム・ハンスン)氏



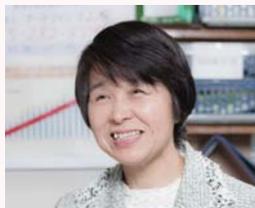
聖公会フードバンク代表。読書大学ルネ21運営委員長。ホームレス長屋信仰共同体司牧。都心の脆弱欠食層の給食支援基金のための社会的企業チョンドンクツパ食堂も運営する。

パネルディスカッション 参加者



原田佳子氏

NPO法人「あいあいねっと」理事長。1974年に広島県学校給食栄養職員を経て現在、医療法人社団恵正会二宮内科医療事業部栄養部門部門長。武田学園文教女子大学非常勤講師。中国新聞文化センタークレドビル教室講師



米山けい子氏

NPO法人フードバンク山梨理事長。生活協同組合パルシステム山梨理事長を退任後、2008年10月「フードバンク山梨」を設立し、2009年9月NPO法人格を取得。山梨モデルとして行政との協働で「食のセーフティネット事業」を展開中。

会場へのアクセス(あすか会議室303C号室)



お申し込み方法

フォーラム参加をご希望の方は、以下のページからお申し込みください。

こくちーず日韓フォーラム申し込みページ:

<http://kokucheese.com/event/index/82947/>

セカンドハーベスト・ジャパンのホームページからも申し込みページに行けます。

http://2hj.org/news_press/777.html

参加費:1,000円(当日入場時にお支払いください)

お問い合わせ先: lee@secondharvestasia.org



安部弘規氏

社会福祉法人島根県社会福祉協議会 生活支援部 フードバンク担当。昨年より、島根県社会福祉協議会の第2期中経営計画で新規に盛込まれたフードバンク立ち上げ支援事業を担当。2年後のフードバンク団体立ち上げに向け、全国のフードバンクとの情報共有、食品企業との折衝、事業引受け団体の開拓を行っている。